

平成19年第6回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成19年5月29日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成19年5月29日	開会 1時29分 閉会 2時01分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員 長 伊東 浄堯 委員長職務 代理者 亙理千鶴子 委 員 菊地 邦夫	委 員 伊藤 恒子 教 育 長 谷垣十四雄	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 本多 龍雄 生涯学習部長 石川 明 庶務課長 北村 高 学務課長 福田 協司 指導室長 富士道正尋 指導主事 浜田 真二	生涯学習課長 伊藤 信之 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興課長 林 文男 図書館長 田中 肇 公民館長 中嶋 登 庶務課長補佐 淀川 章 兼庶務係長	
調 製	主 任 山内 和子		
傍聴者 人 数	1名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	報 告 事 項	1 平成19年第1回小金井市議会臨時会について 2 平成19年第2回小金井市議会定例会について 3 平成19年度校内研究主題について 4 中学校の合唱鑑賞教室について 5 移動図書館車のサービス・ステーションの増設について 6 その他 7 今後の日程について

開会 午後1時29分

伊東委員長 平成19年第6回小金井市教育委員会定例会を開会する。  
日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、菊地委員と伊藤委員に願います。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊東委員長 日程第2、報告事項。順次担当の方から報告をお願いします。

本多学校 報告事項1、平成19年第1回小金井市議会臨時会について報告  
教育部長 させていただきます。

平成19年第1回小金井市議会臨時会は、5月14日に告示され、5月21日に開会された。会期は1日と決定し、市長提出案件として専決処分の報告及び承認について2件、小金井市老人保健医療特別会計補正予算1件、小金井第三小学校校舎耐震補強工事、小金井第一中学校校舎耐震補強工事(その1)、南中学校校舎耐震補強工事の請負契約3件が提出され、審議された。専決処分2件については承認され、契約案件3件については可決されている。

次に、報告事項2、平成19年第2回小金井市議会定例会について報告させていただきます。

平成19年第2回小金井市議会定例会は、5月25日に告示され、6月1日に開催されるが、会期については現時点では未定である。本日、午後2時から開催される議会運営委員会で決定されることになっている。今定例会には、市長提出案件として、報告3件のほか、平成19年度補正予算1件、条例の制定1件、条例の一部改正5件、工事請負金額1,000万円以上の契約締結についての報告1件があり、計11件となっている。

教育関係では、小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の議案を提案している。

なお、今定例会における一般質問についても、質問の通告の締め切りが本日の午前中までとなっており、内容についてはまだ確認できていない。なお、一般質問の内容及び質疑の詳細については、次回の委員会で報告させていただきます。

以上で、報告を終わる。

伊東委員長            ありがとう。何かお伺いすることはあるか。よいか。  
報告事項3、平成19年度校内研究主題について。

浜田指導主事        平成19年度校内研究主題について報告させていただく。  
各学校で、児童生徒の実態、教員の指導のあり方を検討し、研究テーマを設け、教育の充実を図ってまいる。今年度の特徴としては、小学校では国語を中心とした伝え合う力、表現力の育成を主題にしている学校が多いこと。中学校では授業改善による学力向上を主題にしている学校が多いことが挙げられる。また、裏面であるが、前原小学校、南中学校を小金井市学力向上推進指定校に、小金井第四小学校、南小学校、小金井第一中学校を小金井市研究奨励校とし、研究を深めていただく。  
以上である。

伊東委員長            ありがとう。何かご質問はあるか。  
報告事項4、中学校の合唱鑑賞教室について、願います。

浜田指導主事        去る5月11日金曜日、午後2時より武蔵野市民文化会館において、合唱鑑賞教室を開催した。対象は、市立中学校第2学年で、参加生徒は702名であった。出演は二期会合唱団で、90分の演奏予定が10分ほど延び、約100分間の熱演であった。今年度は中学生が合唱曲として多く歌われている曲を取り入れたり、全員合唱の際には、二期会合唱団が観客席の通路に来て一緒に合唱するなど、プログラムが工夫されていた。また、生徒たちの鑑賞態度もよく、すばらしい合唱鑑賞教室を開催することができた。  
以上である。

伊東委員長            ありがとう。  
報告事項5、移動図書館車のサービス・ステーションの増設について。

田中図書館長        図書館では、図書館本館や分室から遠い場所にお住まいの方を対象に、現在、移動図書館車を6カ所に運行している。これは平成1

9年3月5日收受で、小金井市弁天通り自治会副会長様から、貫井南町三楽集会所をステーションとする移動図書館車の巡回の依頼が出ていた。図書館内部及び施設を管理しているコミュニティ文化課と協議をした結果、7月13日から、金曜日の午後3時から4時にかけて運行を開始することとした。ただし、金曜日の場合であるが、第1金曜日は職員会議や図書整理のため休館日となるため運行はしない。あと、祝日に当たった場合もお休みとさせていただく。このことにより、サービス・ステーションは全部で7カ所となる。周知については、市報7月1日号、それからホームページ、小金井市立第四小学校などに行く。下に書いてある表のとおりになる。網かけしてある金曜日、15時から16時についてが運行場所になる。以上である。

伊東委員長

ありがとう。よいか。  
その他に移る。

北村庶務課長

5月10日に教育委員会委員の行政視察を実施したのでご報告する。

視察場所については、練馬区立中村小学校、そして同じく練馬区立南町小学校の2カ所である。

視察目的は、緑化対策、環境学習効果に有効とされている校庭の芝生化について視察するものであった。両校は先進的に取り組まれており、今後の小金井市立学校の環境整備に当たって参考にするため行ったものである。実施日時は、平成19年5月10日木曜日、午後1時から4時までであった。

最初に、中村小学校で芝生化実施に当たったの経緯、実施の工程、管理状況等について、また維持管理組織についてなど、ご説明を受けた後、芝生の状況、管理の備品等を見学した。その後、南町小学校に移動し、南町小学校の芝生の状況等を同様に視察した。

参加者については、教育委員会から伊東委員長、亘理職務代理人、伊藤委員、菊地委員、そして学校教育部長、小金井第二小学校校長、副校長を初め15人の参加、市長部局からは環境部長を初め企画担当、建設担当職員等6人、合計で21人の参加であった。

行政視察についての報告は以上である。

伊東委員長            ありがとうございます。行政視察に行かれた教育委員さんから、ご感想を伺いたいと思う。

亙理委員長  
職務代理者            想像していた以上の大工事が必要で、中村小学校は、地域や親の支えがあって成功していると感じたが、成功していると言っても、これからずっとメンテナンスであり、支えてくださる人たちがずっと続かなければいけないわけで、大変なことだと感じたが、95%もの子どもたちが大変喜んでいるという言葉を支えにしてやっていかなければいけないのかなと思った。

伊東委員長            ありがとうございます。

菊地委員              芝生は一見してきれいであるし、ああいう緑のないところにはいいんだろと思うが、小金井はいっぱい緑があるからどうかなという問題と、ヨーロッパで芝生のグラウンドが多いというのは、あそこの上でサッカーをやったり、シュート、ゴールをやったりという、ああいう上での運動が目的である。それで強くなっているが、運動できない運動場にしちゃっていいのかなという問題が一つあると思う。であるから、もしもやるとすれば、あれのほかに別の、日本というのは大体野球とかサッカーが主なので、そういうのができるグラウンドが別にあるという条件があれば非常にいいことじゃないかと思うが、あれだけで普通の運動場を奪っちゃうということが、果たしてスポーツ、体育にいいのかなという、ちょっと疑問がある。

もちろん、すごく維持費がかかることが前提だし、教育の中ではもっとやることはいっぱいあると思うが、それがクリアされたとしても、芝生だけの運動場というのは、ひとつ問題があるんじゃないかと私は感じた。

また思いついたら。

伊東委員長            ありがとうございます。

伊藤委員              皆さん、おっしゃったのとちょっと違う視点で。芝になるということを目的にしては、学校教育と外れるのかなと思う。芝生化をするに当たって、地域や親と、そこを中心にして何か別のことをしていくとか、協力する力を強めるとか、芝生化することで運動場全体

の構造というものを子どもたちと一緒に考えていって、自然に対する考え方を深めていくとか、何かそれを教育的に、より深い見地で考えていくことが必要なんじゃないか。それじゃないと、単に芝生を枯らしてしまわないようにするとかいうことに終わっては、つまらない芝生化になるのではないかと思った。枯らさないことだけでも大変たくさんの労力とお金がかかるであろう、プラス、それを教育的に高めていくのは難しいことだなと思った。

以上である。

伊東委員長

ありがとう。

私からは、まず練馬に行って、もっと何校も全面芝生化されているのかと思ったら、中村小学校1校の例であった。ほかのところは、本当にごく一部しか芝生化をされていない。ちょっとお弁当を食べるコーナーをつくるというような緑化であったから、まだまだ参考事例としては、1校だけでは少ないのかなと。

それから、ほかの市を聞いても、やはり失敗した事例が非常に多い。もう一つは、初年度予算をもらえるけれども、翌年からのランニングコストについては各自治体で出せというようなことで、練馬区の中村小学校の場合は約500万ずつかかると。

もし芝生がすばらしいんだったら、小金井市14校全部すると、7,000万ずつかかると。ちょっと待てよ、7,000万かかるんだったら、もうちょっと小金井の場合は、その前にすることがたくさんあるんじゃないだろうかということをおはまず感じた。そして、もう少しいろんな事例がたくさん出て、芝生の種類であり、また管理の方法、それもやっぱり、ボランティア、ボランティアと、無償のことばかり頼んでいては息が続かないと思う。最後は学校の先生がやるようになったら、それこそ本末転倒になっていく。もっときちんと管理できるような体制ができるようになったら初めて手を出してもいいんじゃないかと、私はそんなような感想であった。

緑化することによって、確かに見た目もいい感じする。だけど、それにかかわる管理職の先生、またはそれに携わる先生が物すごく忙しくなって、仕事が増えていく。それじゃなくても、今、いろいろ教育改革の中で新しいものに挑戦しなければならない、若い先生が増えていくから、また勉強もしていかなければならない、そういう中で、芝生のために時間をとられるのは、私はいかがなものかな

と。

中村小学校の場合は、総合的な時間を使ってという言い方をしていたが、果たして総合的な時間というのは、今まで何だったんだろう、それ以外に使うことはないだろうか、もっと重要な優先課題があるんじゃないか、そういうことも思った。

やはり私は、まだ中村小学校と南町小学校しか見ないが、まだちょっと時期尚早だなと、もう少し成功事例がたくさん出た段階で小金井は手を出すべきだろうと思った。それが感想である。

ほかに補足とか何かあるか。

伊藤委員

私も、自分自身が南町小学校の校庭と同じぐらいの芝生の部分を維持するのに大変苦労した。特に夏は枯れるので、夏休みも、春夏秋冬それぞれ、水をまくこと、草をとること、入ってはいけないという規制と、学校に芝生があることで、子どもたちをしかることが多くなったような思いを感想として持っている。それでも枯れてしまったという思いを持っているので、維持するには相当な覚悟が必要だろうなど、実感として思っている。

以上である。

菊地委員

この間、運動会に行って思ったが、今、小金井はスプリンクラーもない、運動会でほこりが舞い上がる。だから、芝生をやるとスプリンクラーが全部要るわけであるから、もっと水を使うから、少なくとも今の段階で、まず校庭にスプリンクラーだけでも入れてくれたほうがよほどありがたいと思う。

伊東委員長

芝生はやらないけど、スプリンクラーをやるから、お金をくれと。

菊地委員

そのほうがいい。その予算もないのに、芝生の予算まで出るのかなと感じた。

谷垣教育長

緑化対策の一環だということで、今、芝生化をすることによって、教育的に活用してもらいたいわけで、子どもたちにとっても、教育上、非常に有意義なものだというふうに私は考える。都から多額の補助があるということで、それに、今、委員長が言われたように、ランニングコストをかけないと大変だということなので、ランニン



グコストを含めて予算化をして実施したいと思っている。

それから、先ほど伊藤委員も言われたが、地域が学校を核にして参画していくという一つの教育的なものもあると考える。ぜひご理解をいただきたいと思う。

なかなかうまくやれないのは何かということ、今後ともその実態を調べながら、どうしたら芝生化ができるかを考えていきたいと思う。

伊東委員長　　今、東京都で、たしか約20億という予算をつけているが、手を挙げるところが非常に少ないという話を実際には聞いている。

谷垣教育長　　委員長も先ほどから言われているが、なかなか条件的に難しいということだろうと思うが。条件的に難しいところをどういうふうクリアするかという形で、温暖化対策としても緑化が求められているので執行していきたいと思っている。

伊藤委員　　学校というのは、大人の集団ではなくて、子どもがいるので、何かを始めたら、ああ、失敗だったと終わることはできない。子どもたちにとってそのことがまずかったという結果ではいけないわけで、試しに使うわけにもまいらないので、やる以上は成功させるという思いで頑張りたいと思う。

伊東委員長　　小平の十三小というところは、一回失敗して、今度は小平市の費用でもう一度全部やり直すと。700万、800万という数字の持ち出しになってまたやると。まだ需要が少な過ぎるから、慌ててやることはないと思う。

行政視察については、これで終わる。

その他、あるか。

北村庶務課長　　続いて、私の方から教育委員会にかかる会議などの開催結果などについて、3件ご報告する。

最初に、5月17日木曜日、1都10県の市町村教育委員会が一堂に会し、静岡県富士市の富士市文化会館において、関東甲信静市町村教育委員会連合会総会並びに研修会が開催された。本教育委員会からは、伊東委員長、亘理職務代理者、伊藤委員、菊地委員にご

出席いただいた。

総会は平成18年度の事業報告及び会計決算、19年度の事業計画及び会計予算、そして平成19年度の会長、副会長、監事の選出等の議事があり、いずれも原案どおり承認、可決された。19年度の会長には、静岡県沼津市の内田文喬委員長、副会長には神奈川県平塚市の小澤博委員長と山梨県甲府市の坂本初男委員長が選出された。また、監事には山梨県甲府市の奥田理教育長と、長野市の立岩睦秀教育長が選出されている。

続いて、5月18日木曜日、東京都市町村教育委員会連合会第51回定期総会が東京自治会館で行われた。当日は、亘理委員長職務代理者と伊藤委員にご出席いただいた。内容については、平成18年度の事業報告及び歳入歳出決算、平成19年度事業計画及び平成19年度歳入歳出予算についてご審議いただき、いずれも原案どおり承認、可決されている。

最後に、本日午前になるが、平成19年度小金井市奨学資金運営委員会が開催されているので、ご報告する。教育委員会から、亘理委員長職務代理者と伊藤委員にご出席いただいた。議事内容である。最初に委員長の互選があり、奨学資金運営委員会委員長には亘理委員長職務代理者が選出された。また、同職務代理者には市民公募委員の田中留美子さんが選出されている。続いて、奨学生の選定についての議事に入った。事務局から、小金井市奨学資金の概要、平成18年度の奨学資金の運営状況、平成19年度の奨学生の応募状況、評価算出方法について説明を行い、その後で、平成19年度の奨学生選定の審議が行われた。その結果、平成19年度の応募者、高校生41人、大学生8人の中から、高校生35人と補欠3人、大学生3人と補欠2人が選定された。この選考結果が市長に答申されることになる。

以上である。

伊東委員長

ありがとう。補足はあるか。

亘理委員は、奨学資金の委員長ということで頑張ってください。ほかに何かあるか。よいか。

菊地委員

質問。学務で、はしかは、ほかは出ているか。

福田学務課長 南中であり、18日に登校できるようになり、それ以降は1人も出ていない。状況としては、その後の出がないから、26市的にも終息にあるのかなと、そんな流れである。まだ注意していく。

伊東委員長 ほかにあるか。

田中図書館長 5月1日にオープンした図書館別館の5月分の利用状況についてご説明する。

別館の利用に当たっては、個人利用と団体利用に分けており、個人使用日は、金曜日、土曜日、日曜日、祝日とし、団体使用日は、火曜日、水曜日、木曜日としている。団体使用のできる日が14回、うち使用日が11回で利用率が78.5%、個人の使用できる日が12回、延べ使用人数が57人で、1日平均4.7人であった。

団体使用については、利用率が高かったわけであるが、個人使用については大分利用が伸び悩んでおり、今後の対応としては、市内の小・中学校に個別にこういった学習室があるということでPRしていきたいと思っている。

以上である。

伊東委員長 リピーターみたいな方はできているか。

田中図書館長 毎日見ていないのでちょっとわからないが、定着すれば恐らくいらっしゃる方は多いと思う。

伊藤生涯 2件ある。

学習課長 1件目である。ユニセフから教育委員会に対して後援活動等による活動支援に対する感謝ということで感謝状をいただいた。5月20日日曜日であるが、石川生涯学習部長が代表して受け取っているのでご報告申し上げます。

2点目である。小金井コミュニティスクールが6月23日から開校する。この事業、前年度から始めた事業であるが、地域のさまざまな活動団体が、日ごろの活動に立脚をして、市民向けの講座を開いていただこうとするものである。このことにより、活動団体の市民に対するアピールになると同時に、市民も市内で学習活動が広くできるということをねらいにしたものである。

今回については、無料講座を3つほど入れている。また、9月以降も3月までの間に、大体2回に分けて3か月ごとに募集していく予定である。

以上である。

伊東委員長            ありがとうございます。

ほかに、よいか。

石川生涯  
学習部長            「青少年のための科学の祭典」小金井大会を、昨年度小金井工業高等学校で開催をしている。2007年2月11日であるが、その後、実行委員会がまた次年度に向けて進められており、その中間報告をさせていただきたいと思う。

これまで、私ども教育委員会、小金井市も含めて、後援という形ですずっとやってきている経過がある。今年度は9月9日日曜日であるが、開催予定として実行委員会で検討が進められている。ほぼこの日については変わらないだろうと思っている。今度は東京学芸大学の小金井キャンパスを会場として、前回、2月の実施よりも規模をさらに大きくした形で取り組みを進めているところである。

今回はさらに行政も力を入れていきたいということで、一応、市と教育委員会、それぞれ共催という形で準備を進めさせていただいている。予定では、小金井市長が大会会長、それから大会副会長に東京学芸大学の学長、小金井市教育委員会の教育長、商工会の会長さんが予定をされている。なお、大会参与には、伊東浄堯小金井市教育委員会委員長を予定させていただいている。

そのような形で、事務局は国際ソロプチミスト東京ー小金井が担当しており、実行委員としては、学校教育部長、生涯学習部長、生涯学習課長等が参加をしながら準備を進めている状況である。

以上である。

伊東委員長            日にちと場所をもう一回お願いする。

石川生涯  
学習部長            9月9日日曜日、9時半から17時までの予定で、場所が東京学芸大学小金井キャンパス内である。名称も少し変わり、2007「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井 with サイエンス・ライブショーVと、非常に長いですが、通称名は「in 小金井」で

とめてある。実際に使うときには、「東京大会 i n 小金井 w i t h サイエンス・ライブショーV」というのまでは、表記がなかなかP Rのときに使えないので、一応略称という形でやる予定でいる。

以上である。

伊東委員長

あとはよろしいか。

今後の日程をお願いします。

淀川庶務

教育委員会の今後の日程についてご報告する。

課長補佐

7月10日火曜日、午後1時30分から平成19年第7回教育委員会を801会議室で開催予定である。7月26日木曜日、午後2時から東京都市教育長会研修会が自治会館において開催予定である。全委員のご参加をお願いしたいと思う。8月14日火曜日、午後1時30分から平成19年第8回教育委員会を801会議室で開会予定である。8月24日金曜日、午後2時から東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会・第1回理事研修会が東京自治会館で開催予定である。委員長のご出席をお願いします。8月28日火曜日、午後1時30分から平成19年第9回教育委員会を801会議室で開会予定である。

以上、教育委員会の今後の日程について報告させていただく。

伊東委員長

報告事項は終わった。

本日の審議はすべて終了した。

これをもって平成19年第6回教育委員会定例会を閉会する。ありがとう。お疲れさま。

閉会 午後2時01分